

# 東京国際空港（羽田）の再拡張 について



# 1 . 東京国際空港 (羽田) の概要

## 1 . 東京国際空港（羽田）の概要

( 1 ) 東京国際空港（羽田）は、日本の国内航空旅客利用者約 9 2 0 0 万人 / 年（ 2 0 0 0 年度実績）のうち、約 5 5 0 0 万人（約 6 0 %）が利用し、国内航空貨物取扱量約 9 3 万トン / 年（ 2 0 0 0 年度実績）のうち、約 6 2 万トン（約 6 6 %）を取り扱う、国内航空輸送ネットワークの要にあたる最大の拠点空港である。

【資料： 1 - 2 ~ 1 - 6】

( 2 ) 現在、羽田空港と国内 4 7 空港との間に合計約 3 6 0 便 / 日（約 7 2 0 発着 / 日）の国内線が運航されているが、本年 7 月からは、さらに 2 6 便 / 日（ 5 2 発着 / 日）増便されることになっている。

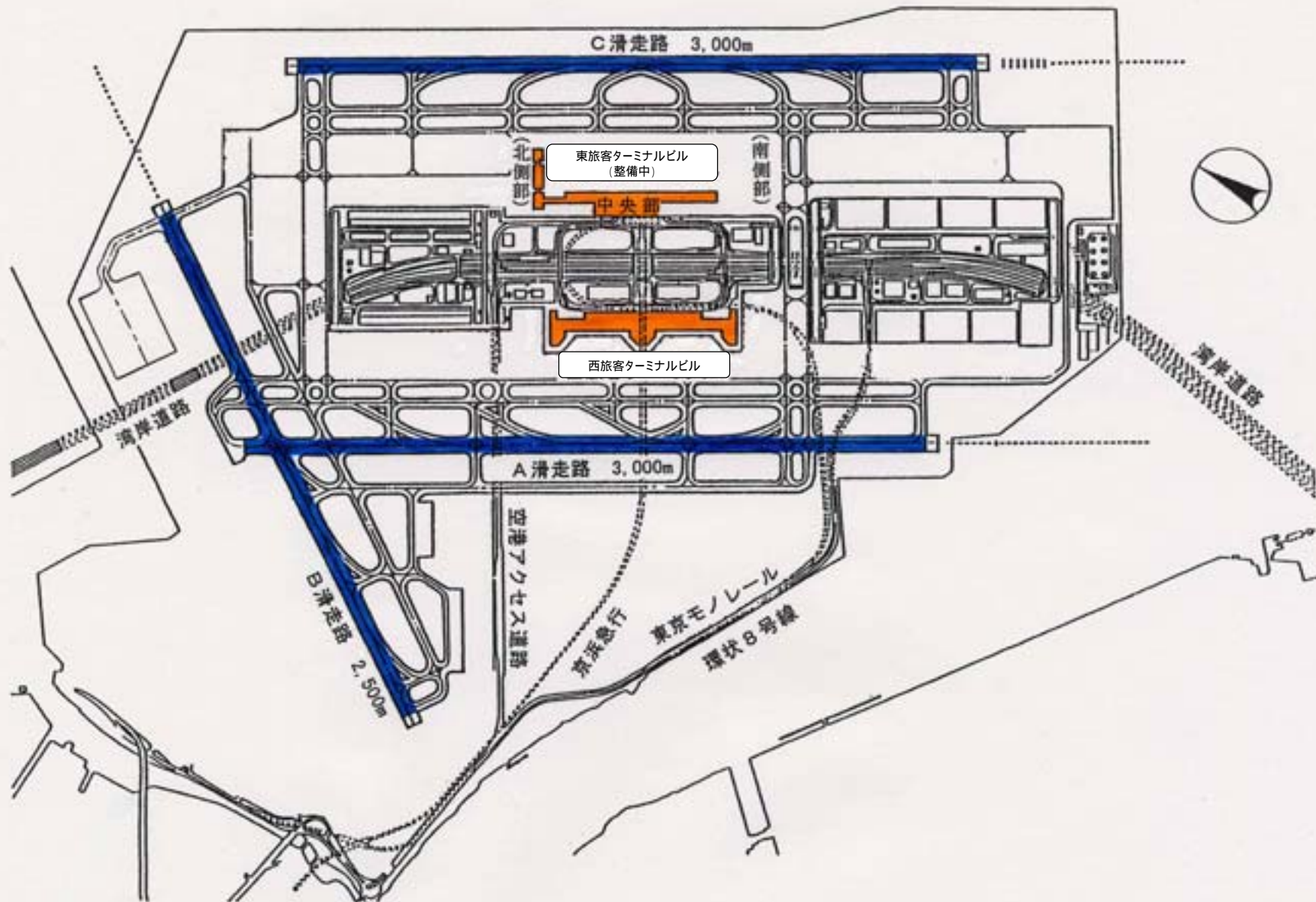
【資料： 1 - 7 ~ 1 - 9】

( 3 ) 一方、国際線については、本年 4 月 1 7 日までは、中華航空及びエバー航空により、国際定期便が 2 9 便 / 週（ 5 8 発着 / 週）運航されていたが、新東京国際空港(成田)の暫定滑走路の供用開始に伴い移転したため、現在国際定期便は運航されていない。

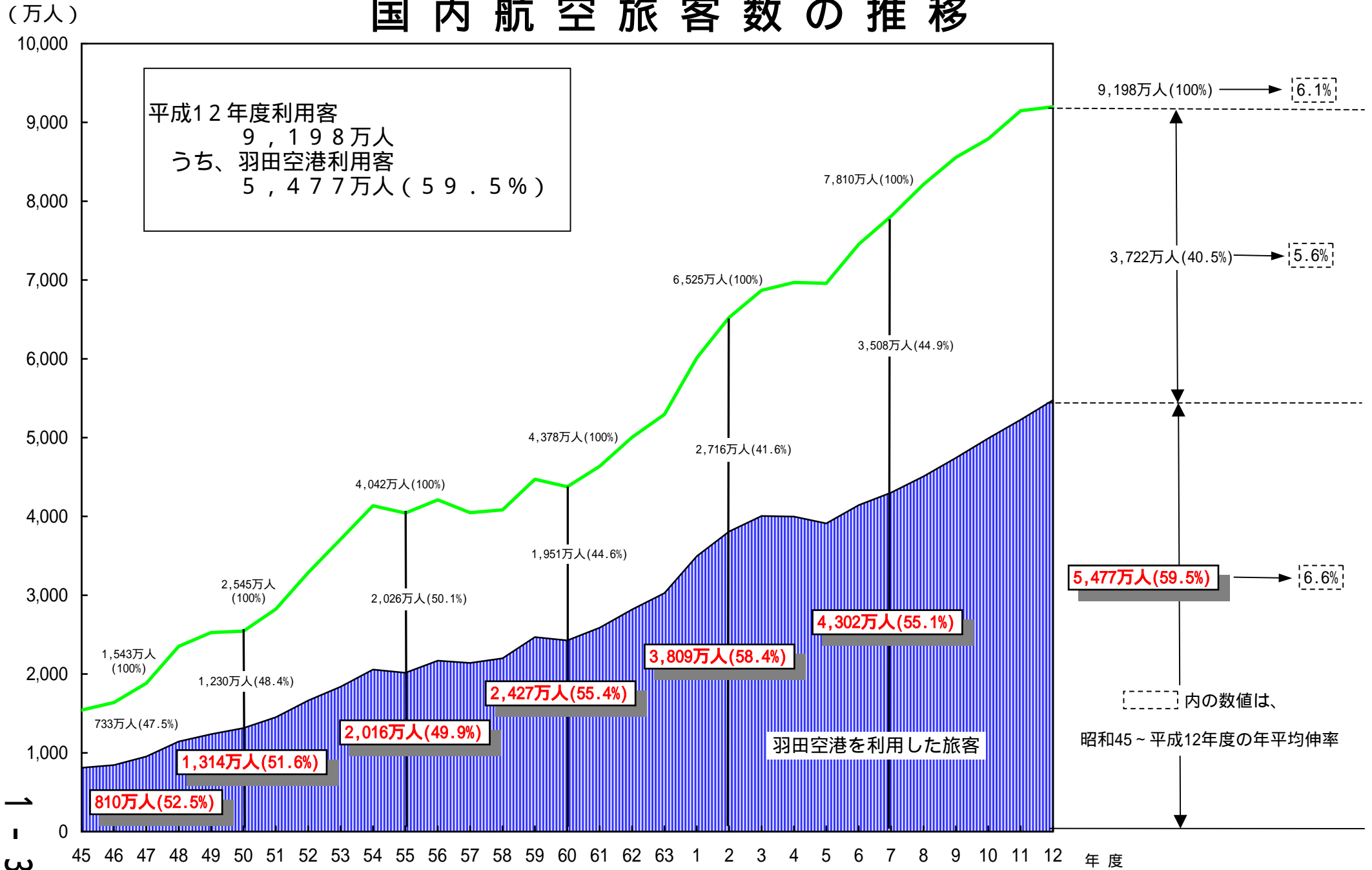
( 4 ) なお、深夜・早朝時間帯（ 2 3 時台から 5 時台）については、発着枠の有効利用の観点から、 2 0 0 1 年 2 月から国際旅客チャーター便が運航されており、現在まで 1 8 0 回（ 1 8 0 発着）（ ~ 2 0 0 2 年 4 月）の運航実績がある。また、W杯期間中については、成田空港の輸送力を補完する観点から、 7 月からの国内線の増便に使用する発着枠を暫定的に使用することにより、昼間においても国際旅客チャーター便の運航を行うこととしている。

【資料： 1 - 1 0】

# 東京国際空港(羽田)



# 国内航空旅客数の推移





# 羽田空港を中心とする国内航空ネットワーク

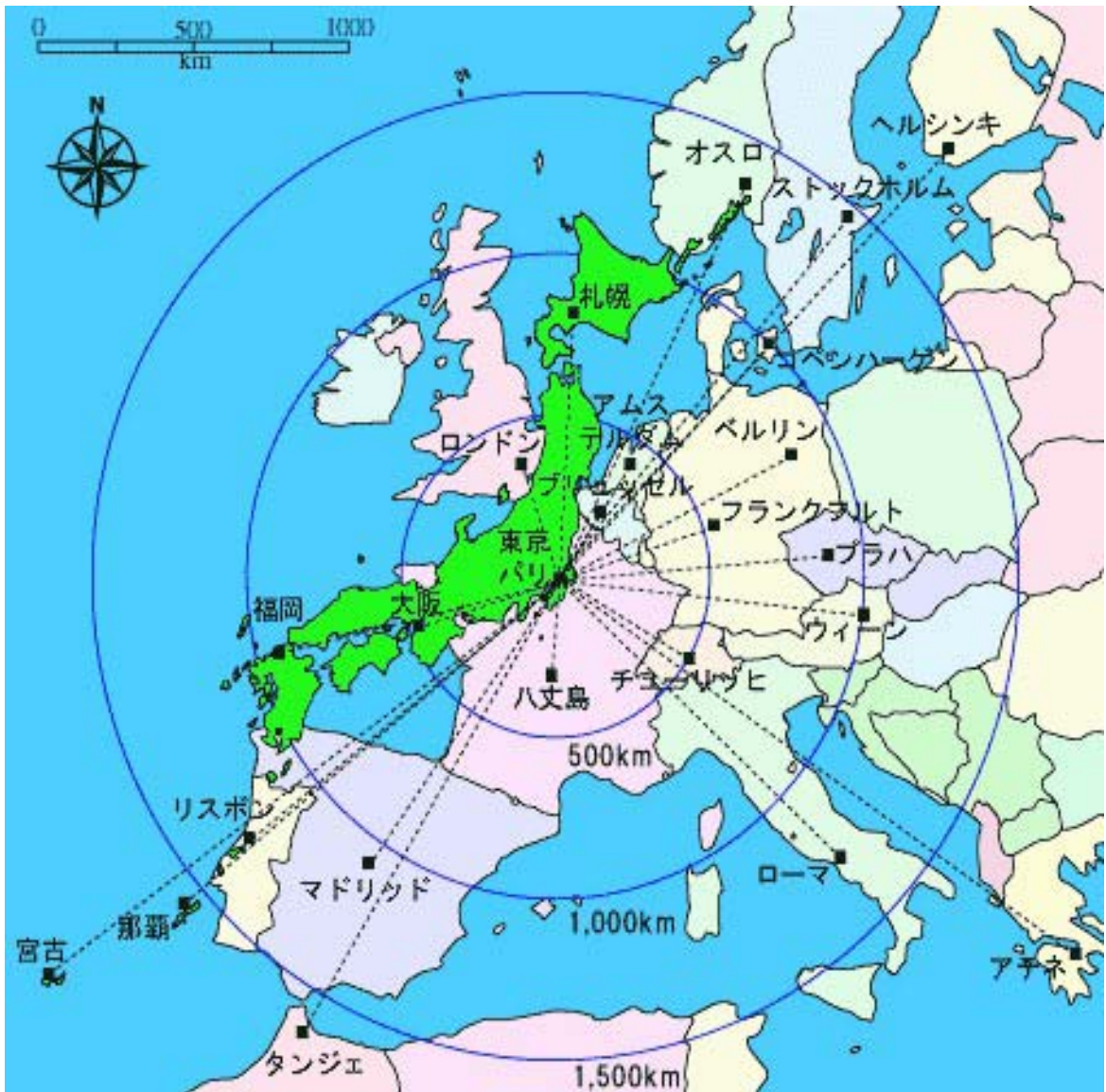
全国47空港と結ばれている





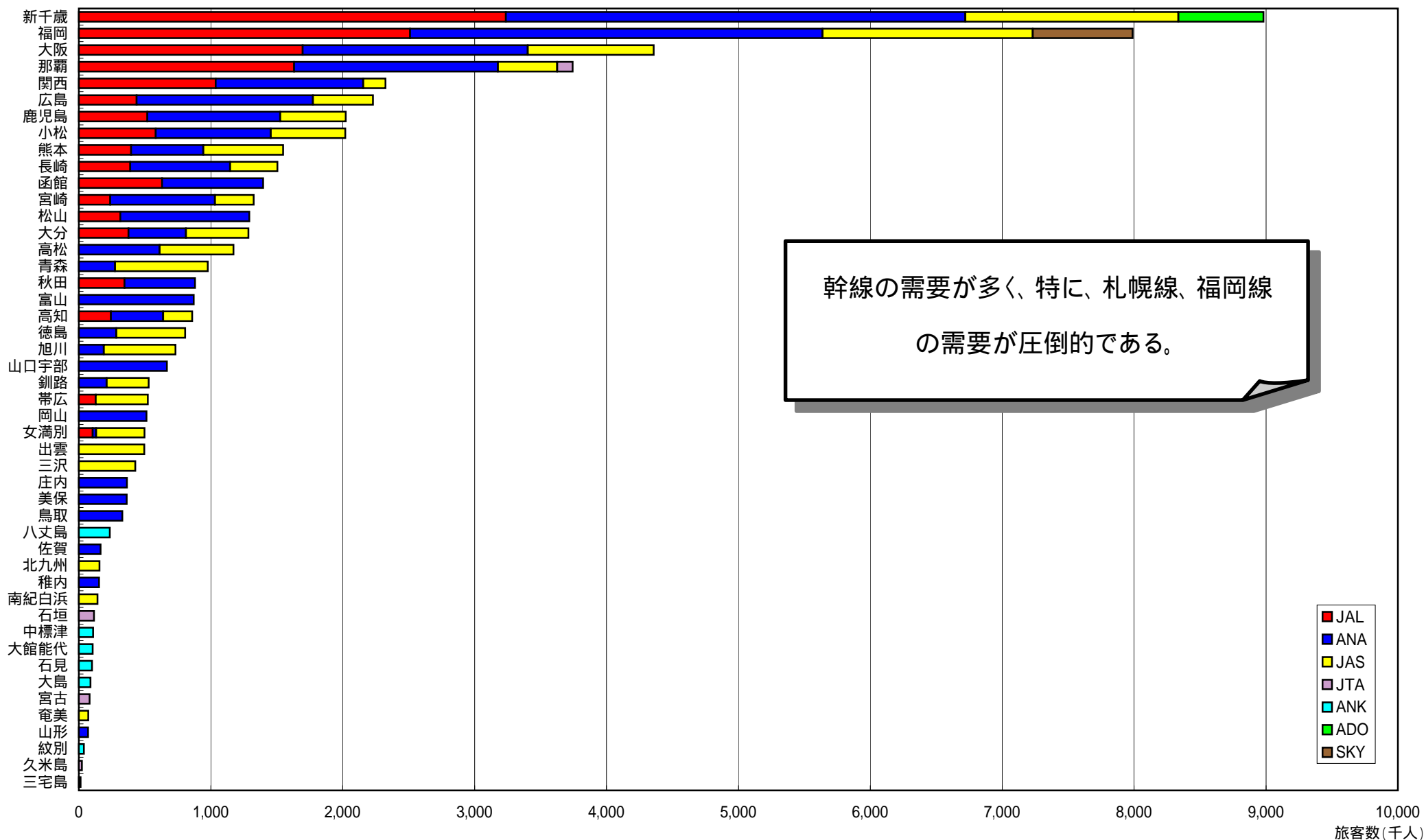
# 羽田空港を中心とする国内航空ネットワーク

羽田空港の路線(距離)は、ヨーロッパのほぼ全域をカバー

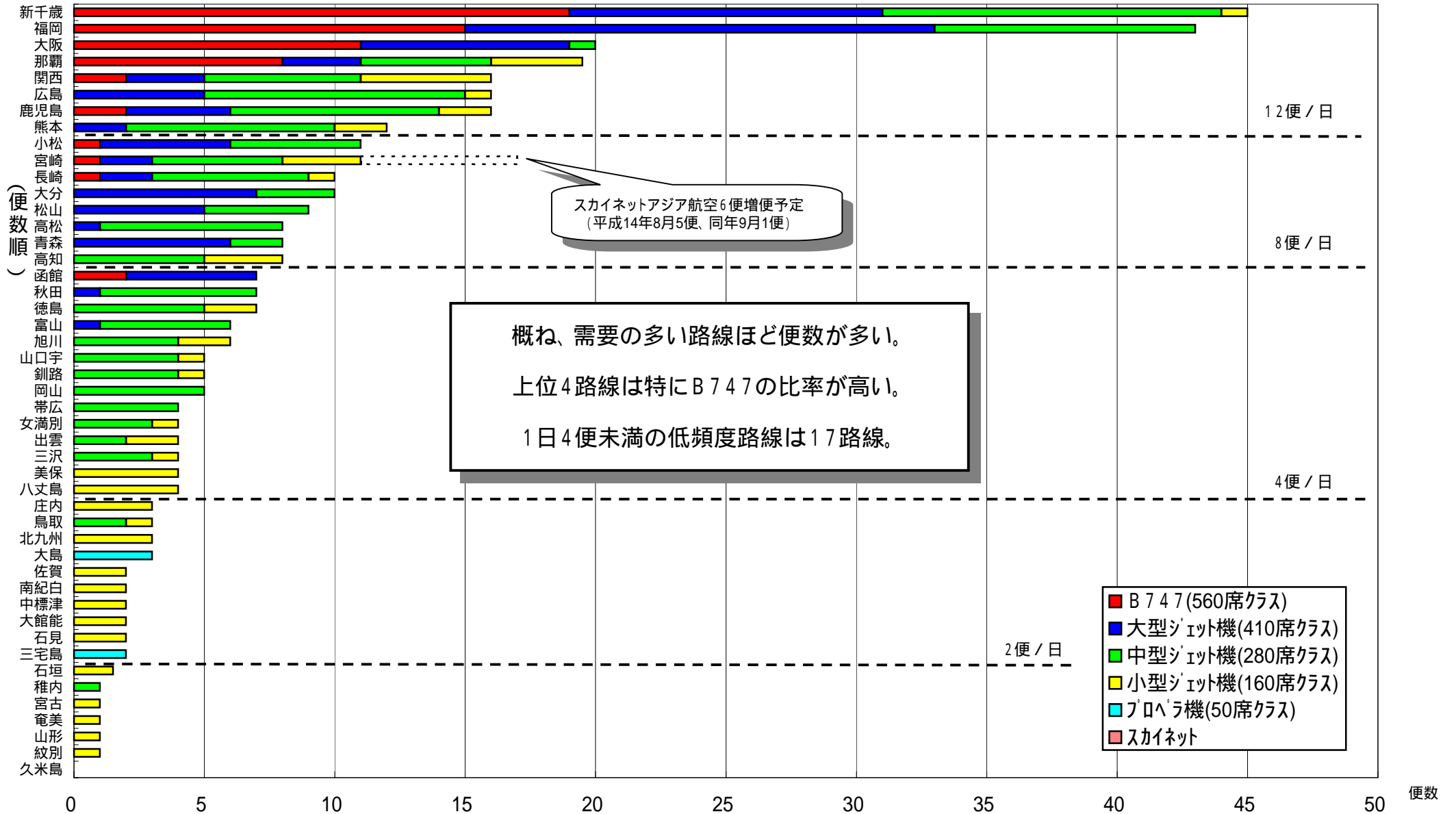


( 羽田 ~ 新千歳 (894km)    パリ ~ ベルリン    (854km)  
羽田 ~ 大阪    (514km)    パリ ~ チューリッヒ (476km) )

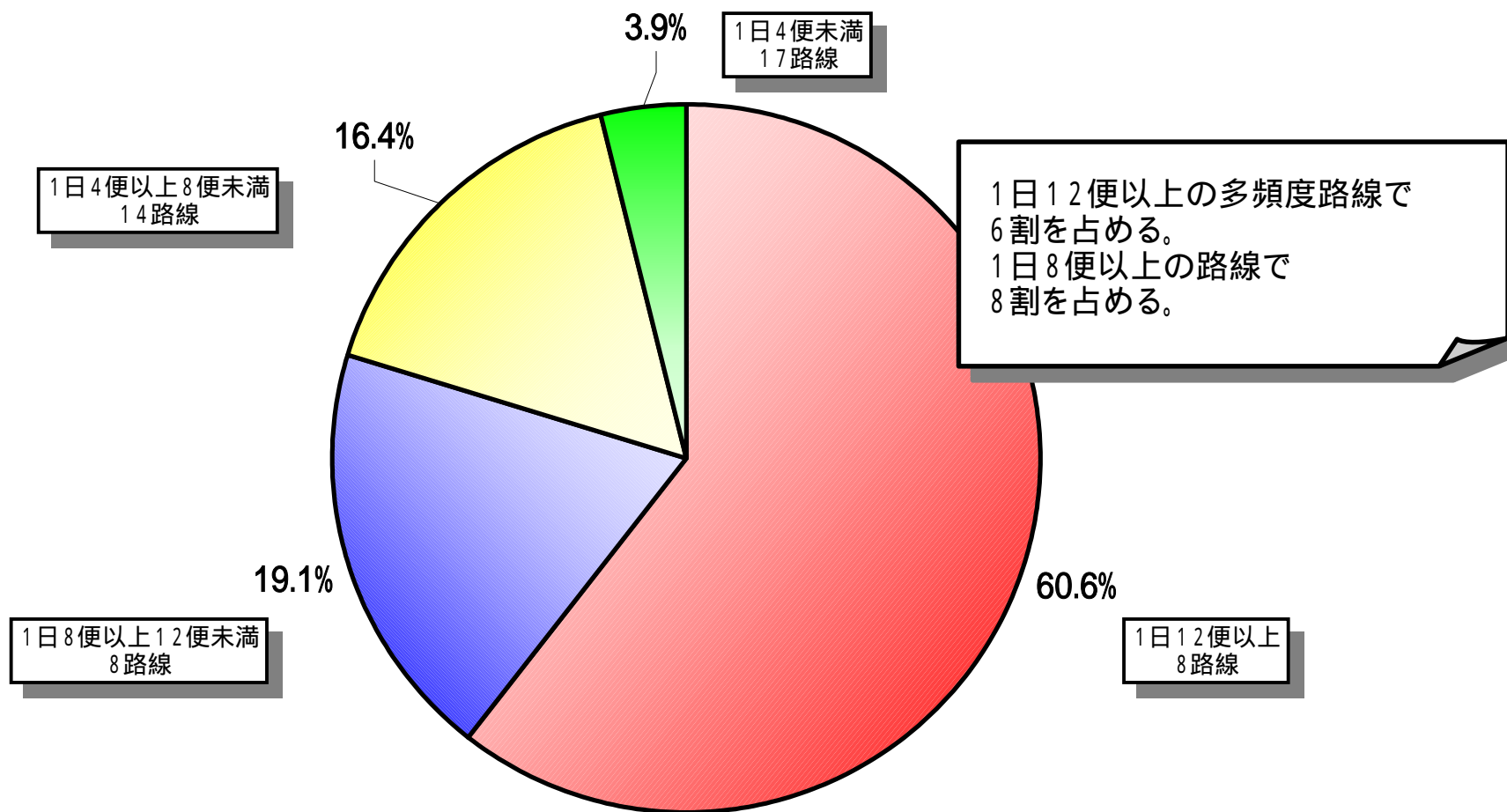
# 羽田空港路線別・航空会社別輸送実績<旅客> (2000年度)



# 羽田路線別・機材別便数



## 羽田空港における運航頻度別旅客数比率



# 羽田空港の国際旅客チャーター便

## 深夜早朝の有効活用

### 平成14年度から深夜早朝チャーターの拡充

#### 週4発着から週70発着へ

(平成13年2月からの運航可能発着回数(出発、到着それぞれ週2回)を拡充し、出発、到着合わせて1日10回の運航が可能となるよう措置。)

(参考)深夜早朝チャーターの実績

発着地	実績	発着地	実績
仁川	148回	瀋陽	4回
グアム	48回	サイパン	2回
済州	27回	ウルムチ	2回
パラオ	9回	ベニス	1回
ホノルル	4回	総計	245回

(平成13年2月～平成14年6月末までの計画を含む。)

## W杯旅客の円滑な輸送

### W杯期間における昼間チャーターの設定

#### 発着それぞれ1日10回程度

(W杯期間中成田空港の輸送力を補完する観点から、出発、到着それぞれ1日10回程度の運航が可能となるよう措置。)

(参考)現時点における運航見込み

発着地	見込み
金浦	70回
仁川	19回
メキシコ	1回
総計	90回

- ・開幕戦: 5月31日(ソウル)
- ・決勝戦: 6月30日(横浜)

## 2 . 沖合展開事業の概要

## 2 . 沖合展開事業の概要

第3次空港整備五箇年計画（昭和51年9月答申）において、「東京国際空港については、新東京国際空港の開港により、国際線が同空港へ移転してもその後の国内線の航空輸送需要の増加により、昭和60年頃には再び能力の限界に達することが予想されるので、環境対策の観点も含めて、現空港の沖合展開による総合的な整備計画を早急に策定し、整備に着手すべきである。」とされた。

これを受け、航空輸送力の確保、航空機騒音問題の解消、廃棄物処理場の有効活用、を目的として、昭和59年から羽田空港の沖合展開事業を実施しており、これまでにA滑走路、西旅客ターミナル、C滑走路の供用に続いて、2000年3月にB滑走路が供用を開始している。現在、東旅客ターミナルの整備を推進しているところである。

【資料：2 - 2 , 2 - 3】

## 沖合展開事業

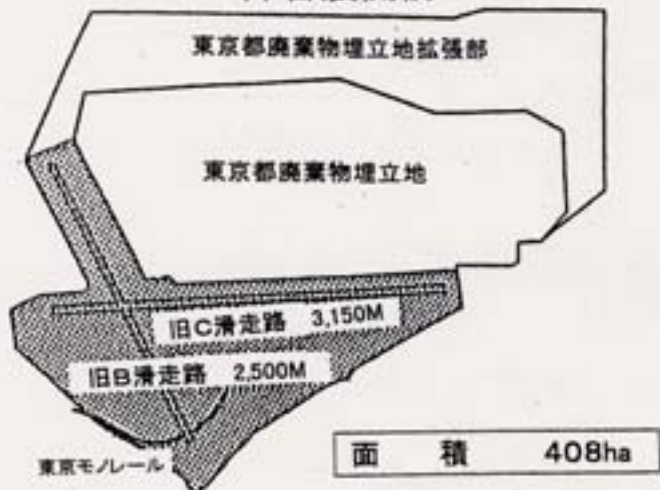
区分	沖合展開前	第 期	第 期	第 期			
概要	-	A滑走路	西夕 - ミナル	C滑走路	B滑走路	東旅客ターミナル (北側、中央部)	東旅客ターミナル(南側部) エプロン、小型機地区等
滑走路	(旧B滑走路) 2,500m × 45m (旧C滑走路) 3,150m × 60m	A滑走路 3,000m × 60m (旧B滑走路) 2,500m × 45m (旧C滑走路) 3,150m × 60m	A滑走路 3,000m × 60m (旧B滑走路) 2,500m × 45m (旧C滑走路) 3,150m × 60m	A滑走路 3,000m × 60m B滑走路 2,500m × 60m C滑走路 3,000m × 60m			
供用開始	-	昭和63年7月	平成5年9月	平成9年3月	平成12年3月	平成15年度未予定	未定

注) 平成9年7月から運航時間が拡大された。(6:00~23:00を0:00~24:00に拡大)

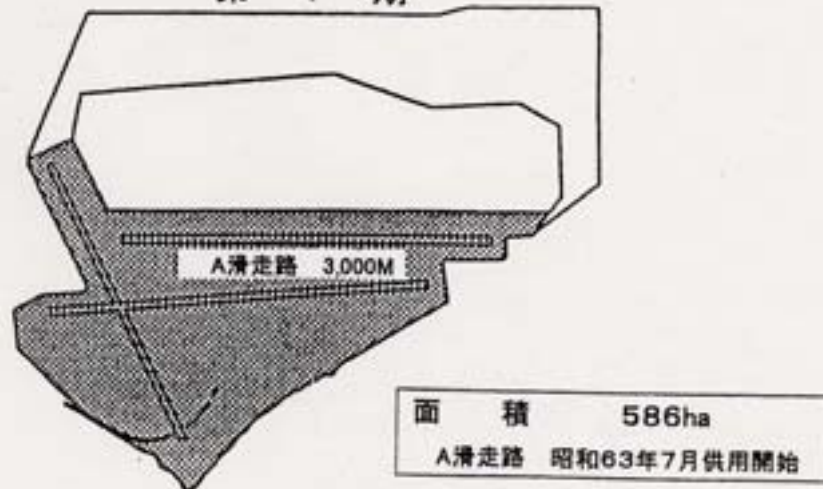


# 段階展開整備図

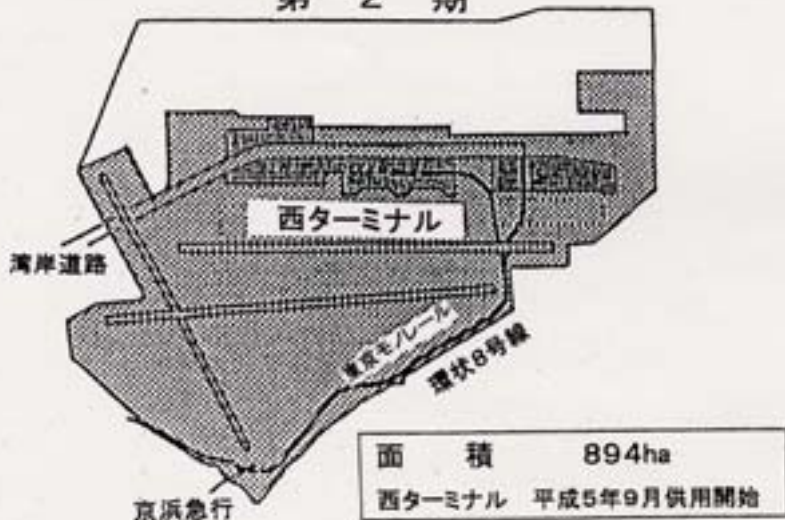
## 沖合展開前



## 第1期



## 第2期



## 第3期

